



初夏の日差しで汗ばむ日も増え、紫陽花が早くも色づいてきました。熱中症対策を行いながら、引き続き安心・安全な学校生活の充実に努めてまいります。個別面談へのご協力もありがとうございました。



様々なご協力の下、子供たちも落ち着いて学校生活を過ごすことが増えてきて、生活リズムも整ってきました。ルーティーンの学習には見通しも立ち安心して取り組める様子が定着してきました。遠足や移動教室などの行事、授業参観がありますが、自分の世界の外の環境が変化する中、実体験により一つずつ持てる力を発揮したり乗り越えたりできるよう、指導・支援を進めています。

～チームアプローチによる指導・支援～

一人一人の児童・生徒にとっての第一の専門家は保護者であり、その存在は偉大です。学校では社会生活の中で豊かに生きていくことができるよう、集団の場でのルールや人との関わり方を学んでいます。児童・生徒それぞれの良さを生かしながら何を学び、教員はどのようにアプローチしていくとよいのか、実際は試行錯誤しながらの毎日です。

一人一人の教員の得意分野や強みを結集して役割分担しながら、1+1は2以上になるような教員集団へ、より効果的な支援ができるようチームとして取り組むようにしています。各分野の外部専門員や保護者の皆様にも相談しながら子供たちの将来の成長した姿をイメージして、よりよい方法を考えてまいります。授業参観でのご感想などもお待ちしております。

～食育の推進について～

本校の給食は、業務委託の調理員10名によって毎日作られています。厨房はすでに室温40度にもなる中、心を込めて安全でおいしい給食を作っています。



彩豊かで食欲も増進します

添加物を使用しない本格的な出汁や旬の食材・地元の食材を積極的に活用したメニューは栄養士が作成し、子供たちのリクエストにも応えています。毎日、その日のメニューに関連するトピックを『しゃくじいランチ』に掲載し、各学級で読むのがルーティーンです。

また、「食に関する指導」の全体計画や年間指導計画を基に、図書室では毎月旬な食材を取り上げて、絵本を陳列したり掲示したりして、見て分かる「食育コーナー」を設置しています。今後は絵本とのコラボ給食も予定しています。教科の学習の中では、栽培活動や調理に取り組み、食への興味・関心を高めています。日々の積み重ねにより、将来の健康な身体づくりの促進に取り組んでいます。

■避難訓練の取り組みについて

地震及び火災を想定した避難訓練を実施し、放送や教員の指示をよく聞きながら、安全に避難する力を身に付けていきます。机の下にもぐる「サルのポーズ」や、安全な場所で身を守る姿勢を確認し、落ち着いて行動できるよう取り組んでいます。また、避難経路や避難場所を確認し、周囲の状況に気を付けながら、安全に移動することを学びます。訓練を通して、防災意識を高めていくことができるようにしていきます。

また6月には、水害による避難を想定した垂直避難の訓練、関係機関と連携した起震車及び煙ハウス体験、「連れ去り」を中心とした犯罪被害に遭わないための身の守り方を知る「セーフティ教室」などの様々な場面を想定した訓練を行っていきます。

保護者の皆様を対象とした災害用伝言ダイヤル試聴体験、緊急メール配信及び開封確認訓練を行います。学校、家庭と共に災害発生時の連携を強化してまいりますので、御協力のほど、よろしく願いいたします。（生活指導部：小野山 雄大）



■令和8年度学校見学会について

5月19日（火）に第一回学校見学会を開催しました。本校へ就学や進学、転学などを検討している保護者の方々が、26名程来校されました。学校見学会では、実際に校舎や教室、生活の場を見ていただくことで、写真や説明だけでは分からない部分を知ることができ、「安心感」につなげることができました。

また、本校の児童・生徒がどのような環境で学び、生活していくのかを見ていただくことで、「自分の子がここで過ごしたら」という具体的なイメージをもちながら、教育内容や支援の方法について知っていただくことができました。本校は、「一人一人の可能性を十分に広げ、地域に根ざした生活の中で自立的な社会参加を特性に応じた学びと生活の支援を通して、「自立」と「社会参加」を目指しています。

今後、7月2日（木）、9月16日（水）、10月13日（火）にも同様に開催します。

また、支援機関の方を対象とした見学会は11月6日（金）に予定しております。御利用されている事業所から見学の御希望がある場合は、この機会を利用していただければ幸いです。



（特別支援部：渡辺 叔佳）